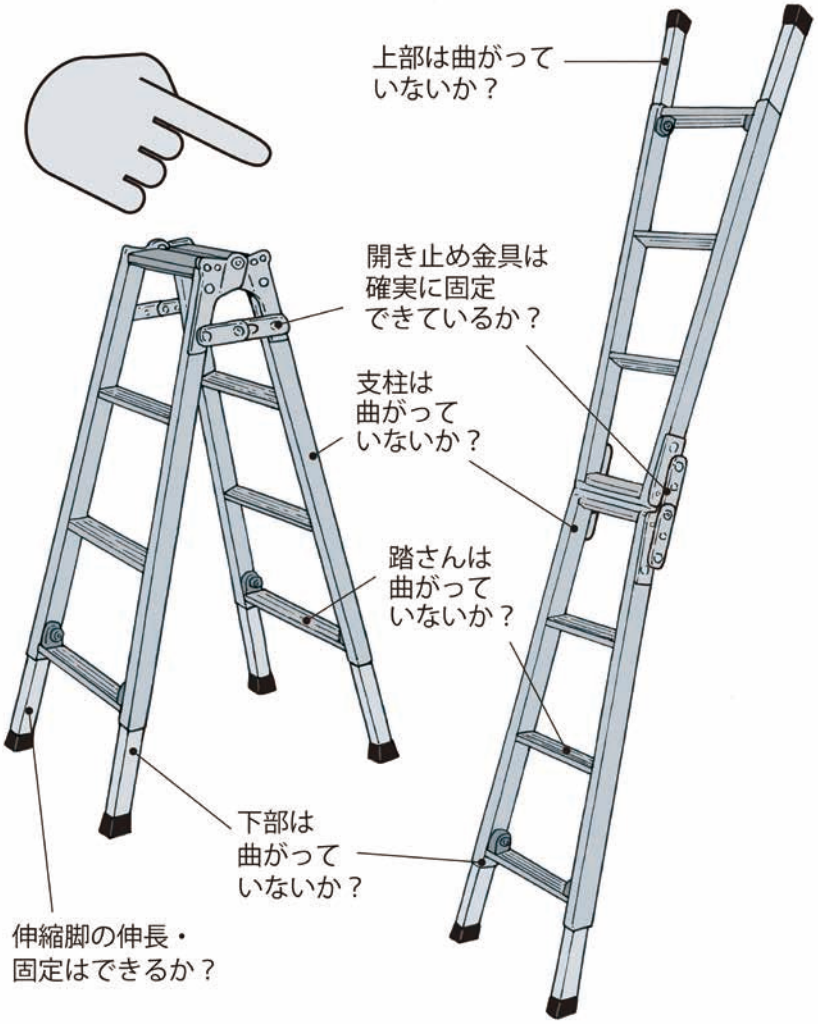
脚立・可搬式作業台

（1）脚立・可搬式作業台

〔脚　立〕

各部を確認しよう
- ねじ、ピンの緩み、脱落
- 部品の外れ
- 支柱、踏みさん、部材の変形、損傷



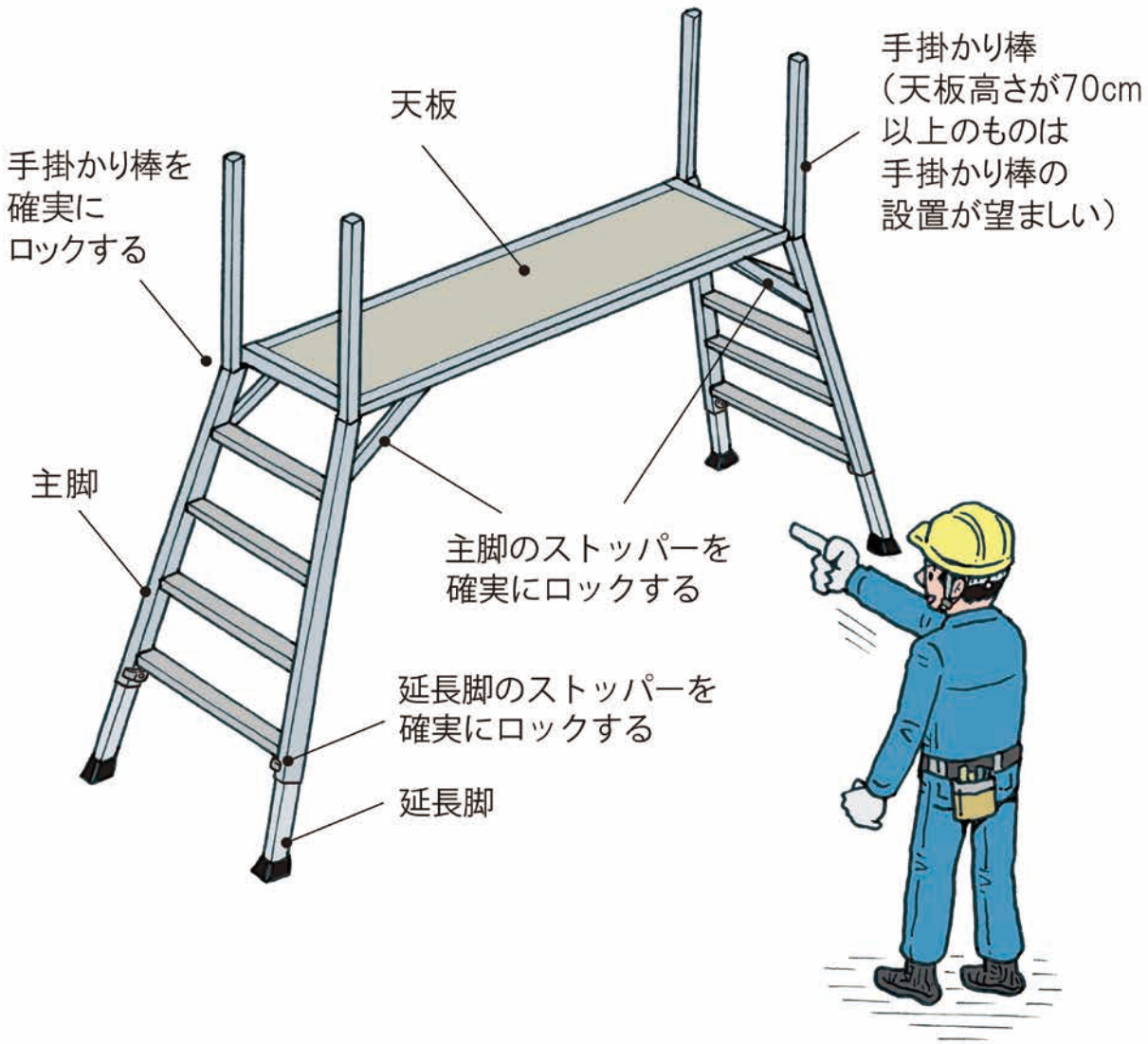
守るべきこと

①開き止め金具、脚部滑り止め及び、伸縮固定金具の点検をし、不良なものは使用しないこと。

②脚立の設置場所は水平で安定した場所とすること。

〔可搬式作業台〕

各部を確認しよう
・ねじの緩み
・部品の外れ
・部材の曲がり・割れ



守るべきこと

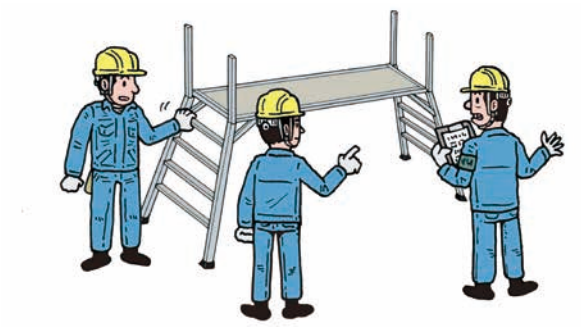
①開き止め金具、脚部滑り止め及び、伸縮固定金具の点検をし、不良なものは使用しないこと。

②可搬式作業台の設置場所は水平で安定した場所とすること。

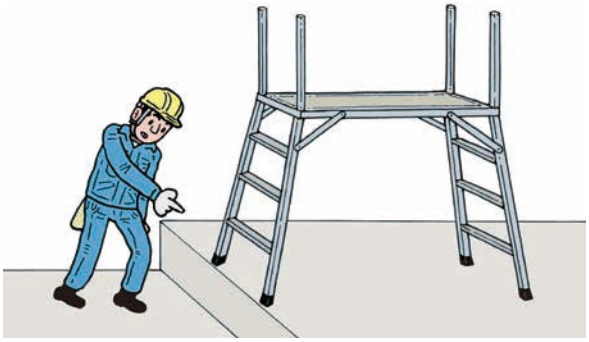
（2）可搬式作業台を安全に使用するための注意事項

可搬式作業台 8 つの安全ルール

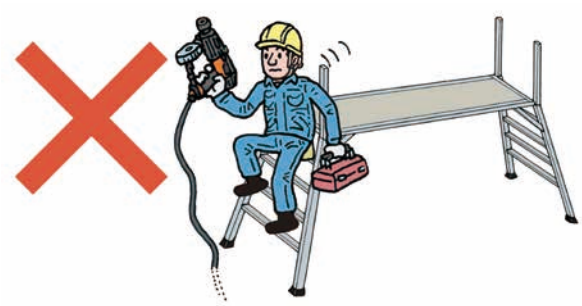
作業開始前点検を確実に行う



設置場所は適正か見極める

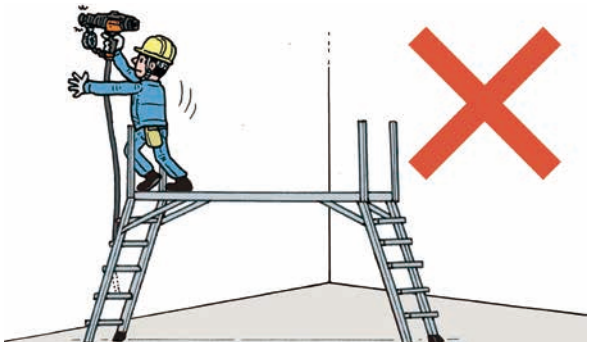


工具や材料を持って昇降しない

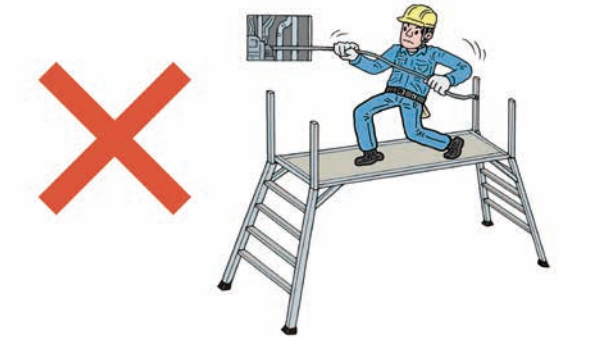


背を向けて降りない

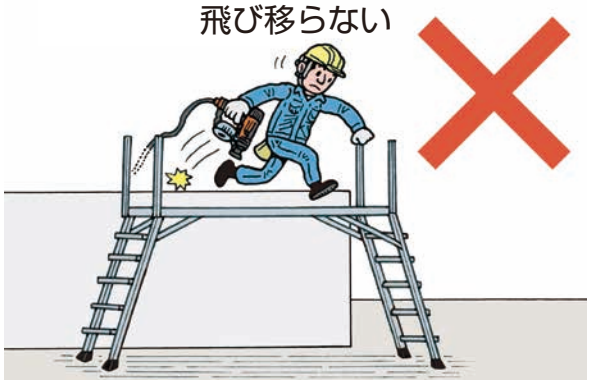
身を乗り出して作業しない



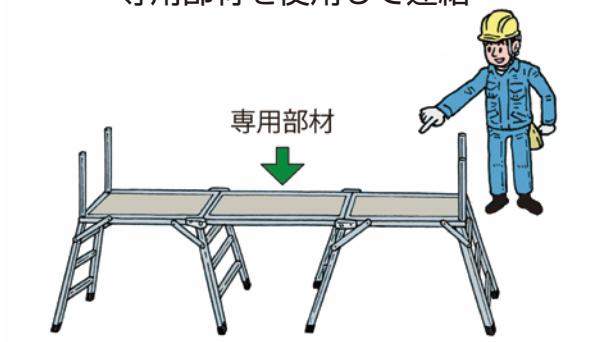
反動作業はしない



飛び移らない



専用部材を使用して連結



（3）注意すべき災害の例

①作業台に背を向けて降りていて転落

発生状況

片手に工具を持ち作業台に背を向けて降り、足を滑らせ転倒。

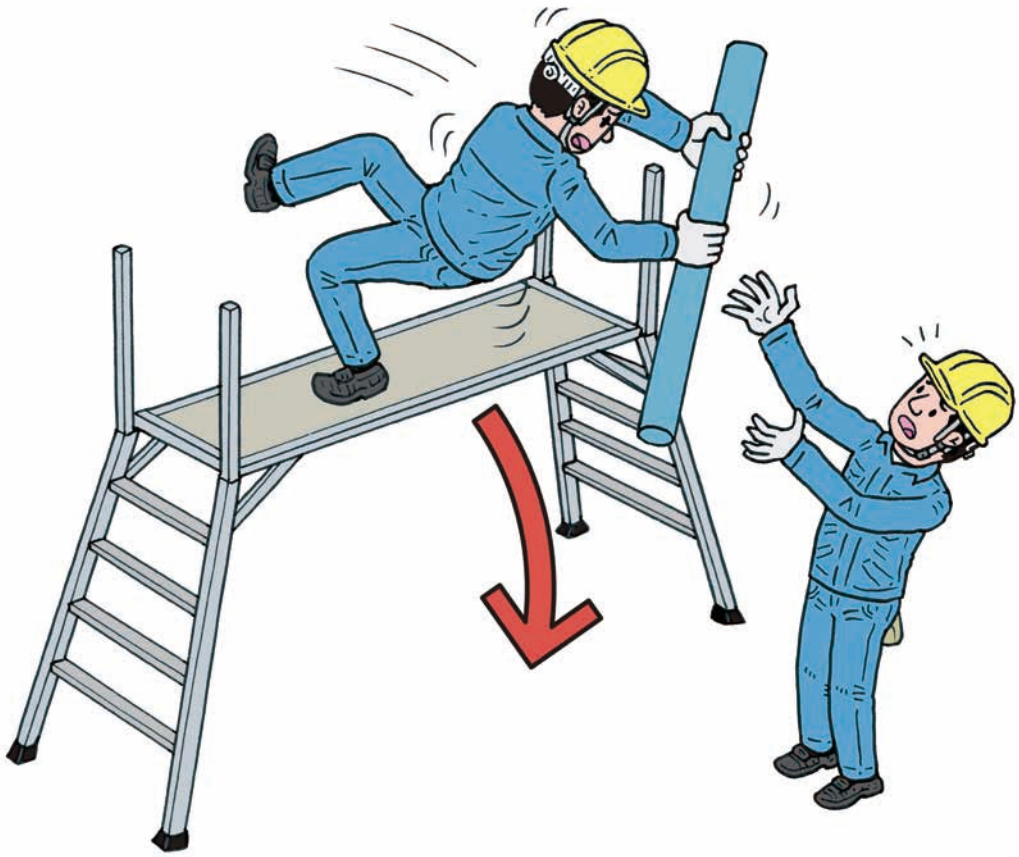
守るべきこと

①手に物を持って昇降しないこと。
②作業台に背を向けて昇降しないこと。
③本体か、手がかり棒をつかんで昇降すること。

②無理な姿勢からの転落

発生状況

可搬式作業台の上で、中腰の状態で作業中、身体をひねるようにして、側にいた作業員に材料を渡そうとしてバランスを崩し転落。



守るべきこと

①手渡す際は、正対して手渡しを行うこと。
②無理な姿勢での作業は行わないこと。
③作業台の上で、壁や物を無理に押したり引いたりしないこと。

③段差のある場所に作業台を設置しての転落

発生状況

可搬式作業台を設置するとき、床段差を調整するため片方の脚部に 15cm の高さの台に乗せて設置。その後、天板に乗ろうとした際、バランスが崩れ作業台から転落。

守るべきこと

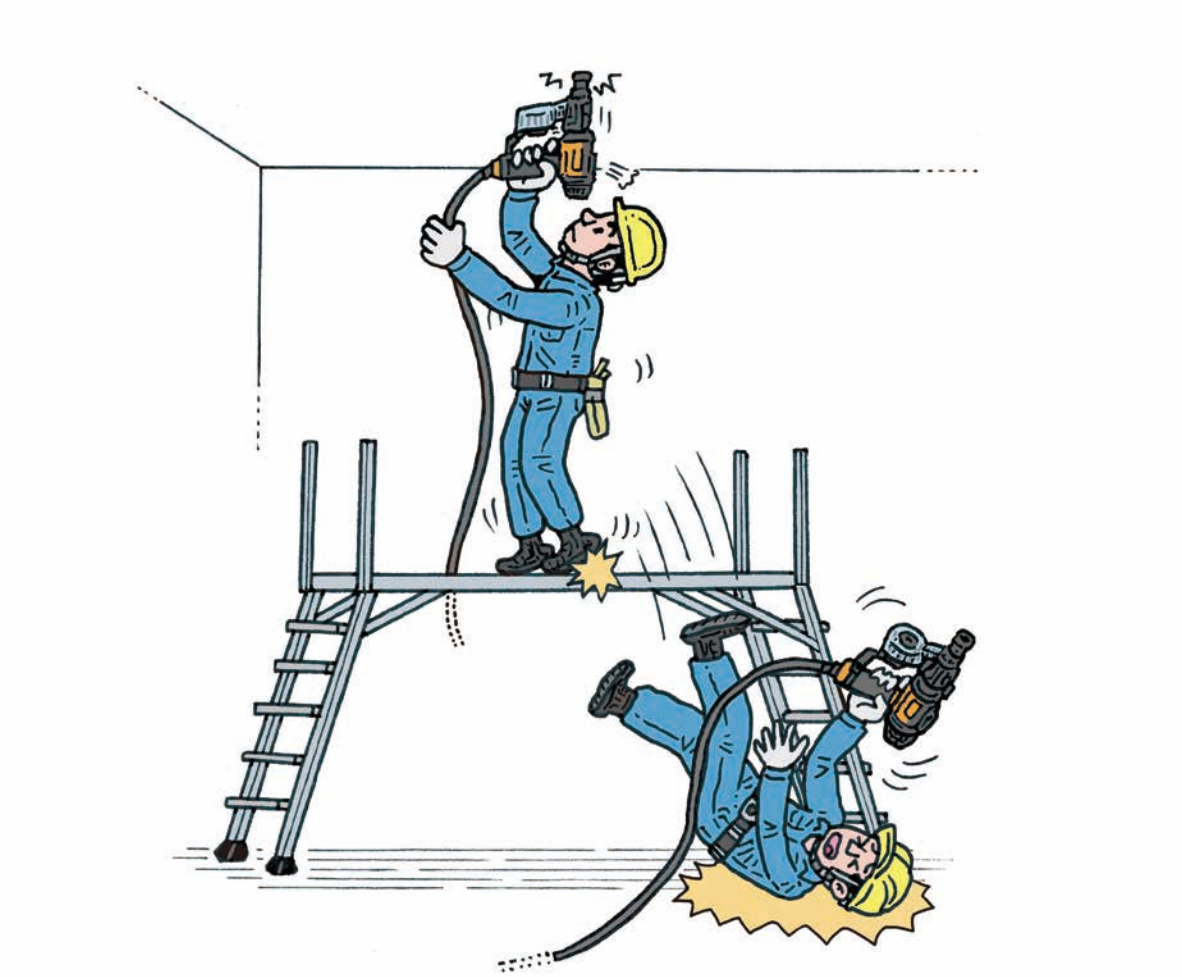
①高さ調整のために、台や箱などの上に作業台を載せないこと。

②天板の上に物や人を乗せたまま移動しないこと。

④足の踏み外しによる転落

発生状況

室内で、作業台に乗って天井にアンカーを打つ作業中、天井が高く無理な姿勢で作業したため足を踏み外し転落。



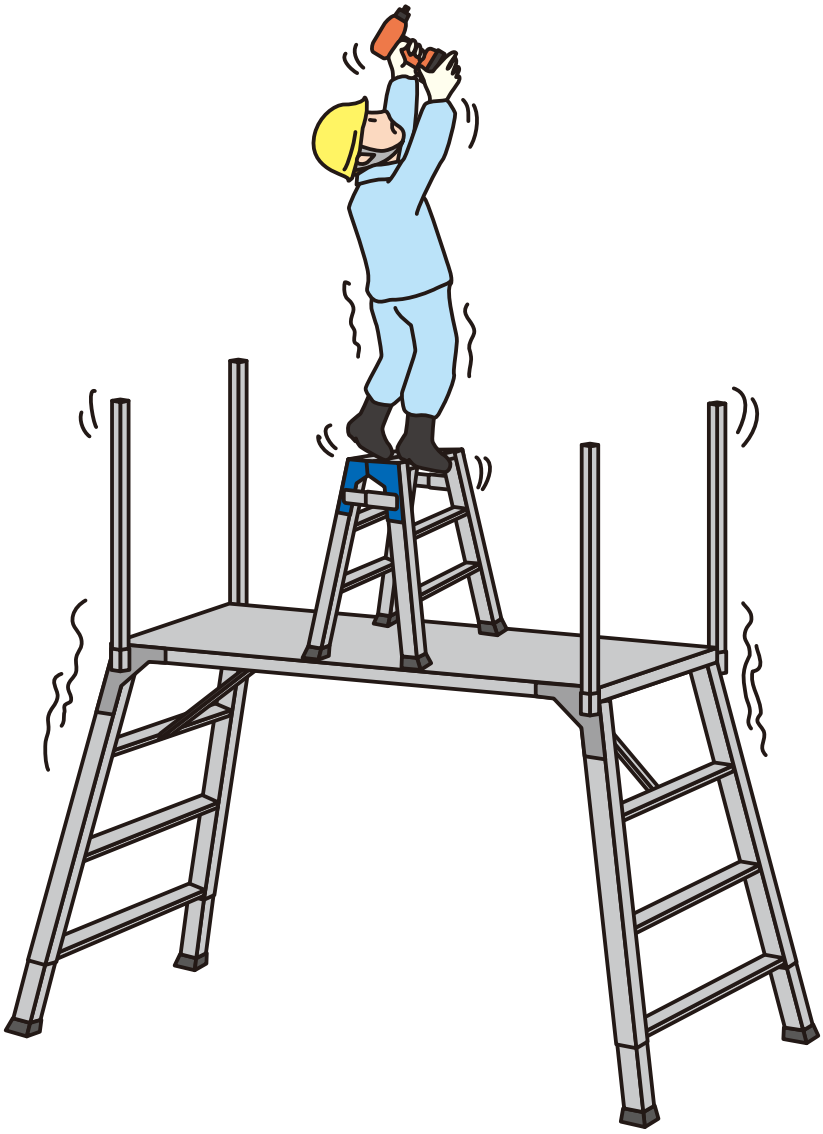
守るべきこと

①天板に乗って作業する際は、常に足元に注意すること。
②適正な高さの作業台を使用すること。
③作業台の上には、同時に２人以上乗って作業しないこと。

⑤ 天板の上に踏台や脚立等を載せ作業中、転落

発生状況

作業台の高さが足りなかったため、作業台の上に踏台を置き、作業中バランスを崩し転落。



守るべきこと

①天板の上に、脚立や踏み台などを乗せ作業しないこと。
②適切な高さの作業台を設置すること。
③作業台から別の作業台へ乗り移らないこと。